

## ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2004年10月5日

### 10月3日の概況

10月3日に終わる週の気温は多少平年を上回る状態であった。降雨は処により有ったが HRS 並びに Durum 小麦の収穫が急がれた。9月30日夜より気温は急激に下がり、10月1日には所により 20度 F 以下を記録した。今年是最初の Killing Frost が全州を覆った。小麦の収穫作業は例年の2週間遅れであった。

この Killing Frost により 2004年産春小麦の収穫は最終を迎えたと判断された。10月現在 HRS は 97%の圃場にて収穫が完了、Durum 小麦は 74%の完了の状態であった。

ノースダコタ大学による品質サーベアーの結果 (HRS81%収穫の段階でのサンプル検査) では、平均蛋白質 13.9%、FN 値 395 秒、容積重平均 60.9 ポンド/ブッシェル、夾雑物 1%、US No. 1 Grade のガラス質粒含有は 73%、と発表された。

春の播種期が好天に恵まれ順調な播種が開始されたが、その後天候不順で小麦の栄養成長が多少遅れた。但し、天候は快復し比較的良好な土壌水分に恵まれ順調な生育を続けた。開花期から登熟期に急激な温度上昇に遭遇することもなく順調に登熟した。その結果単位収量予想は昨年を上回った。登熟後期になり天候が崩れ、8月後半から9月の気象は湿潤・低温であり枯熟が遅れ収穫作業が進まなかった。特に播種の遅い Durum 小麦の登熟の遅れが目立った。

単位収量予想では 2003年産を多少上回っているが、収穫が放棄される圃場が多く出ると予想された。

### 土壌水分：10月3日現在

#### Topsoil

	Very Short	Short	Adequate	Surplus
This Week	11	16	65	82
Last week	9	18	61	12
Last Year	12	39	39	1
5-Year Ave.	13	28	55	4

#### Subsoil

This Week	18	16	58	8
Last Week	16	19	57	8
Last Year	32	41	27	0
5-Year Ave	14	27	55	4

### 小麦成育状況：10月3日現在

Durum Wheat	This Week	Last Week	Last Year	5-Year Ave.
Combined (%)	74	67	100	94
HRS Wheat				
Combined (%)	91	84	100	99

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service, US31

### 2004年産硬質春小麦の作付け品種：

ノースダコタ産 HRS の中心品種は、2003 年に引き続き Alsen であった。全作付け面積に対し、28.9%が当該品種であった。Alsen は NW 地区、NC 地区等州北部を中心に作付けられた。NW 地区や NC 地区では夫々同地区の 55.34%、53.6%の圃場が Alsen を作付けた。第 2 位の作付け品種は 1999 年に ND にて発表され 2000 年より作付けられた Semi-dwarf 品種の Reeder で全体の 13.3%を占めた。Reeder は州南部を中心に作付けられた。SW 地区の 48.0%の圃場が Reeder と報告された。第 3 位は 2003 年より作付けが始まった新品種の Biigs であち、全州の 13.3%を占めた。第 4 位に Parshall そして Knudson が続いた。2000 年産で首位の座に在った Russ は第 9 位 (2.7%) となっている。

2004 年 8 月 1 日付け農務省発表生産量予想：

Crop year	Area Harvested 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2003	2004	2003	2004		2003	2004
				Jul 1	Aug 1		
HRS	6,400	6,200	39.5	36.0	40.0	252,800	248,000
Durum	1,980	1,700	29.5	28.0	30.0	58,410	51,000

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)